

2022年度 全国通訳案内士試験
第1次試験（筆記試験）一般常識

本試験

解答・解説

50満点中、30点得点で合格圏内

- ※ 本試験問題は著作権で保護されているため、本解答・解説には本試験問題は一部引用部分を除いて掲載してありません。また、この解答・解説を使った授業においても、画面上に表示することはできません。お読みになる際、また、授業をお受けになる際には、皆様がお持ち帰りになった問題を手元にご用意ください。

解答一覧（問題番号はマークシートの番号です。）

- 1 ①
- 2 ②
- 3 ③
- 4 ①
- 5 ④
- 6 ④
- 7 ①
- 8 ④
- 9 ②
- 10 ④
- 11 ①
- 12 ①
- 13 ①
- 14 ③
- 15 ③
- 16 ③
- 17 ②
- 18 ②
- 19 ③
- 20 ①

【難易度】

⇒ 例年通り。

【予想合格点】

⇒ ガイドライン通り 30 点か。

【問題傾向】

一般常識は出題範囲が無限大であるが、過去問を綿密に研究した上で対策をとっておけば、6割の合格点は取ることができる。今年も、しっかりと準備をすれば解ける問題が6割、これまで培ってきた一般常識と論理的思考能力が試される問題が1.5割、試験の段階では出来なくてもよい問題が2.5割、と例年通り3種類に分かれている。

試験要綱では「産業、経済、政治及び文化に関する一般常識問題」とあるが、過去数年と同じく、出題割合は、文化・観光が50点中42点で、産業・経済5点、政治3点と、出題があまりにアンバランスである。今後もこのような出題方針を取るのならば、受験生のためにも、試験要綱の表現を「文化・観光に関する一般常識問題」とでも変更すべきであろう。

一般常識の試験対策としては、まず、中学公民で扱う日本の経済、産業、政治、社会の基礎知識を学習し、さらに現場の通訳ガイドに求められる広い分野の最新情報を学習していく必要がある。

一方、常識で解ける設問に関しては、日頃からテレビや新聞などのニュースをチェックし、文化トレンド・知的情報に幅広く関心を持って、アンテナを張り巡らせておくことが必須であろう。なお、今回は、CELで使用した「一般常識 基本テキスト 第2編」および演習問題で66パーセントカバーできている（正解の後の★）。加えて消去法や常識を活用して解ける問題もあるので、全体で70%以上得点が可能だろう。

解答・解説（問題番号はマークシートの番号です。）

1 ①買物代・宿泊費・飲食費★

⇒ S2-3-3、S3-3-1-2 で出題。2019年の訪日外国人による旅行消費額は3年連続出題。2019年は買物代(16,690億円)、宿泊費(14,132億円)、飲食費(10,397億円)の順で多かった。

2 ②(ア)韓国、(イ)台湾★

⇒ こちらも頻出。S2-3-2、S3-3-1-2 他で出題。2019年の訪日外国人旅行者の内訳は、上位から中国、韓国、台湾の順。

3 ③ Customs (税関)、Immigration (出入国審査)、Quarantine (検疫) の総称。★

⇒ S4-1-2 で出題。2019年の過去最大の訪日外客数、オリンピック、及びその後のコロナで、CIQについて触れる機会が多かったのが出題理由。

4 ①

⇒ 近年、日本国内では、インターネット上で顧客に代わり、宿泊施設の予約や航空券の購入を代理で行ってくれるオンライン旅行代理店(OTA = online travel agent)の取引が主流になってきている。日本旅館協会が2019年度に行った調査では、OTA 経由: 38.4%、旅行代理店経由: 22.2%、自社サイト(直販サイト) 経由: 9.9%、電話やメールなどの直接予約: 29.5%であるが、パンデミック禍でOTAのシェアが縮小し、直販率が増加するという動向が、ヨーロッパや中国以外のアジアの地域で見られるようになったと言われる。設問文には「欧州各国のケースでは予約のおよそ半数を直販サイトが占める」とある点に注意。②「直販サイトの利用はホテルでは欧州並み」が事実と異なる。③ 2022年7月5日付け日経新聞によると、『総務省が5日公表した2022年の情報通信白書によると、デジタルトランスフォーメーション(DX)の課題として日本企業の7割が「人材不足」をあげたことが分かった。3~6割とした米国、ドイツ、中国に比べて高い水準だった。日本では続いて「技術の知識・リテラシー不足」との回答が多く、人材面の課題が浮き彫りになった。』とあるため、「ITを導入できる人材は豊富」が事実と異なる。④「欧州並みに近づいている」が事実と異なる。

5 ④温室効果ガス排出削減★

⇒ S3-1-1-1 で出題。パリ協定は「気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定」であるため、常識的に④を選ぶ。

6 ④アクティビティ★

⇒ S2-3-4 で出題。「パラグライダー体験」「藁細工体験」「トレッキング」などに合うものを選ぶ。

7 ①アドベンチャーツーリズム★

⇒ S2-3-4 で出題。直前に「こうした」とあるので「アクティビティ」をとりいれたツーリズムの意味になるものを選ぶ。②コンテンツツーリズムは映画やアニメなど作品の舞台を訪れる観光。③エクスペリエンスツーリズムは自然体験、農業体験、工芸体験などを楽しむ観光。藁細工体験はこれに含まれるかもしれないが、トレッキングやパラグライダーはややジャンルが異なる。④イベントツーリズムは祭り、万博、オリンピック、コンサートなどのイベントに合わせて観光客を集めるもの。スポーツツーリズムはその一種と言える。

8 ④ユニバーサル（ツーリズム）★

⇒ S3-3-2-3 で出題。ユニバーサルツーリズムは、すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行。

9 ②心のバリアフリー★

⇒ S4-2-7 で出題。観光施設における心のバリアフリー制度は、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした制度で、認定された観光施設には、観光庁が定める認定マークが交付される。

10 ④記憶の継承★

⇒ S4-1-4 でダークツーリズム紹介。常識的に選ぶ。①記憶の風化は論外。②訪れる人々同士の交流や③地域の人々同士の交流であれば観光復興に寄与しない。

11 ①

⇒ 「新型コロナウイルス感染拡大防止のために注意すべき点」という観点から見ると、②「状況把握しなくても良い」、③「行政や保健所の相談窓口等に連絡する必要はなく」、④「行政や保健所の相談窓口には連絡する必要はない」など、「注意すべき点」ではなく、「不要な点」を述べているので設問に合わない。

12 ①トンガ

⇒ ニュースでご存じの方は多いだろう。南太平洋トンガ諸島で起きた海底火山噴火及びそれに伴う地震により、津波、現地の飲料水不足、通信障害を引き起こした。

13 ① 2025 年日本国際博覧会

⇒ ひっかけ問題。「正式名称」を選ぶ。④は通称だがこちらを耳にすることが多いため間違った方は多いだろう。

- 14 ③
⇒ 難問。②と④は消去できるかもしれない。①すき入れはなくしておらず、新たに高精細なすき入れ模様を導入する。②新札を見ればわかるが、どのお札も洋数字の方が、漢数字より大きい。④これを行うと大変なことになる。
- 15 ③★
⇒ S3-2-1-1 で出題。ちなみに①はスマートベニューのこと。
- 16 ③盆★
⇒ S2-2-3-4 で選択肢に出題。やっと出たという感じ。
- 17 ②どんど焼
⇒ 小正月は1月15日。どんど焼きは東北、近畿、中国、沖縄地方での呼び名。
①大文字焼きはお盆の送り火の俗称。京都五山の送り火はこの名称では呼ばない方がよい。③送り火は、お盆に帰ってきた先祖の魂を現世からあの世へと送り出す行事。その反対にお盆の初めに先祖の魂を迎えるものを迎え火と言う。
④火渡り祭は火がついている薪炭の上を裸足で歩く行事で、高尾山薬王院のものが知られる。
- 18 ②通常は寺院にしかない五重塔があること。
⇒ ①と④は常識的に消去。参道を進むと石鳥居の左手に五重塔がある。
※ 8月26日の解説では、「右手」と言っていますが、参道から本堂に向かってですと左手になります。
- 19 ③★
⇒ S2-2-3-2 で出題。ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」の4つの特徴として、(1)多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重、(2)健康的な食生活を支える栄養バランス、(3)自然の美しさや季節の移ろいの表現、(4)正月などの年中行事との密接な関わり、がある。
- 20 ①奄美大島と西表島★
⇒ S4-1-8 や基本テキスト。



〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-5 サンエスビル 2F

TEL 03-5291-1820 FAX 03-5291-1821

<https://www.cel-eigo.com>

授業教材および授業内容（音声・映像など）の著作権は全て CEL 英語ソリューションズ™に帰属します。
著作者の許可なしに複製・印刷を行うこと、および、教材や授業ビデオのダウンロード元 URL を第三者に伝達・開示することを禁止します。